

# 地区防災計画

をつくりませんか？

地区防災計画とは、**自主防災組織などが行う自発的な防災活動に関する計画**のことで、その地区独自の自然特性、想定される災害などに応じて内容を定めることができます。地域の防災活動に関することで、「慣例化しているけれど、計画にまで至っていない」「新たな世代に引き継がれていくか不安」ということはありませんか？いざという時に備え、自主防災組織などで、まずは地区防災計画を作成しておきましょう。すでに作成している自主防災組織は、計画の見直しの際に活用できます。

問合せ 危機管理課 ☎ 983・2751

## ◆作成目的は？

市町村の地域防災計画に加え、各地区で地区防災計画を作成することで、自助、共助また公助のバランスをとり、大規模広域災害後の災害対策をより効果的に行うためです。東日本大震災では、実際に、地域住民自身による自助、地域コミュニティにおける共助が非常に重要であったということが教訓となっています。

## ◆作成の手引きを活用して簡単に作成できます！

市内ですでに作成している自主防災組織の地区防災計画や、穴埋め方式の手引きを市ホームページに掲載していますので参考にしてください。



◀地区防災計画の手引き  
(ひな形) はこちら

手引きには、風水害時に自主防災組織に求められる行動を示したタイムラインも掲載しています。地区の自然特性などに応じて修正すれば、地区防災計画の作成と同時に「自主防災組織版 マイ・タイムライン」も完成されるように工夫されています。

中島自主防災強化対策委員会顧問の遠藤さんは「従来の積み重ねをベースに、地区の自然特性を踏まえ、中島町内防災活動の指針として総合的に集約できたことが大きなメリットです。また町内の皆さまの理解また取り組み・活動がし易いよう、簡潔にして基本的な事項を主体に策定したこともポイントです。」と語っていただきました。



▲中島自主防災強化対策委員会  
顧問 遠藤修司さん

作成するだけでなく、計画に基づく防災活動を実践し、形骸化しないように評価や見直しを行い、継続することが大切です！

(6) 自主防災組織に求められる行動 (タイムライン)

時間	気象情報・避難情報	自主防災組織の活動
-7時	○台風の進路予想	●ハザードマップによる地域の危険箇所の把握 ●情報収集 (テレビ、インターネットなど) ●早めに災害に備えるよう周知を図る ●連絡体制の確保 (町内会・组长・住民) ●自治会長から组长等へ連絡 ●自主防災組織内の連絡 ●土のう等の準備
-4時	◇大雨注意報、洪水注意報	●避難行動要支援者への対応 ●组长を通じて避難行動要支援者への声かけ、避難の意思確認 ●自主防災本部の役員参集 ●指定緊急避難場所 (公民館) の開設準備 ●住民の受入れ準備 ●市から自治会会長あてに避難情報の入電
-2時	○大雨警報、洪水警報	
-1時	○土砂災害警戒情報	
-6時	【警戒レベル3】 避難準備・高齢者等避難開始	●深台風接近及び避難が必要な状況が夜間・早朝に予想される場合は暗くなる前に避難情報を発表 ●近所 (组长等) への呼びかけ ●近所への声かけや避難 ●近所の行動を確認 ●避難行動要支援者の避難支援 ●指定緊急避難場所 (公民館) の運営 ●避難者の受入れ、対応 ●指定緊急避難場所 (小中学校・高校) の運営 ●現地配備員 (市職員) と連携し、避難者の対応 ●除雪機等による情報共有 ●地域の水分活動 ●消防団を中心に危険な場所や地域の見回り ●近所の安否確認 ●近所の相互確認 ●各家の避難状況の確認 ●自主防災組織による避難の判断や避難誘導
-3時	【警戒レベル4】避難勧告	
-2時	【警戒レベル4】 避難指示 (緊急) ◇大雨特別警戒	
-1時	【警戒レベル5】 災害発生情報	
0時		
	気象情報・避難情報 解除後	●指定緊急避難場所 (公民館)、 指定緊急避難場所 (小中学校・高校) の閉鎖 ●避難行動要支援者の支援 ●町内の巡回 ●被害箇所の確認 ●市への報告 ●災害対応の意思喚起、地区防災計画の修正

自主防災組織の活動は地域の特性に応じて修正して下さい。

深台風接近及び避難が必要な状況が夜間・早朝に予想される場合は暗くなる前に避難情報を発表

※気象情報、避難情報に関する発表等のタイミングについては、事象によって異なります。

▲タイムライン (地区防災計画の手引きより)

ママが楽しく学ぶ

# 防災講座

「子育てや家事が忙しくて、防災まで手が回らない！」そんな保護者の方が、

託児つきで楽しく学べる防災講座。今年は感染症対策として、また、自宅から家族でご参加いただけるよう、オンラインでの受講も可能です。自らと家族の命を守るため、参加してみませんか？

問合せ 危機管理課 ☎ 983・2751

## 申込・問合せ

- ①参加希望回
  - ②郵便番号、住所、電話番号
  - ③参加者の<sup>フリガナ</sup>氏名 ④受講形式
  - ⑤オンライン受講の場合はメールアドレス
  - ⑥会場受講の場合は子ども同伴の有無
  - ⑦子ども同伴の場合は子どもの<sup>フリガナ</sup>氏名・年齢・性別
  - ⑧託児(10カ月以上児に限る)希望の有無
- ※応募多数時抽選

危機管理課 ☎ 983・2751

FAX 981・7720

✉ kiki@city.mishima.shizuoka.jp

電子申請は右のQRコードから

## 第1回

### 片づけと備蓄の収納

家具固定だけでなく、片付けも立派な防災対策のひとつ！安全対策、備蓄の収納場所確保のためにも日常の家事とあわせてできる一石二鳥の防災対策を学びませんか？

12月1日 ☽ 午前10時～正午

場生涯学習センター5階 第4研修室

オンラインでも受講可能 (Microsoft Teams 使用)

定【研修室受講】15人

【オンライン受講】10人

持筆記用具

用11月20日(金)まで ※応募多数時抽選



▲電子申請はこちら

## 第2回

### 女性と子どものための災害時の心と体ケア

災害と同時に襲ってくるのが、ストレスや体調不良……災害時に起こり得る女性と子どもの心と体のトラブル対処法を伝授します！

12月8日 ☽ 午前10時～正午

場生涯学習センター5階 第4研修室

オンラインでも受講可能 (Microsoft Teams 使用)

定【研修室受講】15人

【オンライン受講】10人

持筆記用具

用11月27日(金)まで ※応募多数時抽選



▲電子申請はこちら

## 講師



ママ防災アドバイザー  
高良 綾乃 さん

- ・三島市防災士会 所属
- ・ふじのくに防災士
- ・スマイル bosai らぼ代表